山陽新聞 2023年5月26日（金）全面広告（14面）

きょう記念式典とフォーラム

未来社会を見据え

【上】開学30周年を迎え、今後の展望を話す冲学長【下】促岩山陽新聞社倉敷本社代表（右）からの質問に答える冲学長

草間詰雄さんからトークも OPUフォーラム

岡山県立大学が、開学30周年記念式典と、研究発示発表会「ＯＰＵフォーラム」を開催。

一般公開される フォーラムは午前11時20分から。教員・学生の研究成果や協力する地元企業の展示のほか、日本における「ファイバーアートの第一人者」で同大名誉教授の草間詰雄さん、同大短期大学部卒業生で女優の安藤恵さんらによるトークショー、キッチンカーやテントでの飲食物販売などがある。

参加無料。トークショーは定員200人。同大ホームページ（https://www.oka-pu.ac.jp/research/page=996/）に詳細な日程を掲載している。

富本賀朝
相談役本部

岡山県立短期大学を前身とする岡山県立大学（倉敷市西阿知）が、1993年の開学から30周年を迎えた。「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念とし、保健福祉、情報工学、デザインの３学部で、社会に貢献できる人材育成を目指してきた。開念式典に合わせ、同大の展望を聞いた。

沖陽子学長インタビュー

地域・企業との連携深化

―開学30の節目の年を迎えられました。

本学の前身・岡山県立短期大学は、岡山市にあった岡山栄養科学園（昭和60年）が母体で、県民栄養学校（62年）、県立看護学校（63年）と、次々に開学されました。本学開学に伴い、移行し、学生数は設置校の２０ＯＤＡ市の公立学校入学者となるまで、2022年度末までに約２万人の卒業生を出ています。これは、本学の大きな誇りであり、この数に、さらに、ますます、磨きをかけていきたいです。

―岡山県立大学は、保健福祉、情報工学、デザインの３学部を設置しています。

保健福祉学部は県立短期大学の流れを汲む学部、情報工学部は県立情報大学の流れを汲む学部、デザイン学部は県立美術大学の流れを汲む学部で、開学当時は、保健福祉学部は設置校でした。岡山大学と共同設置の学部に、岡山大学と共同設置の学部に、岡山大学と共同設置の学部に、人間と社会、自然と地域の理念に向け、人間と社会、自然と地域の、豊かな発展を目指すとされ、この３学部になったと聞いています。

社会貢献が使命

―建学理念には、地域社会への研究等、地域社会との連携、連携を図られていて、公立大学の使命は、地域社会への貢献にあるのではないでしょうか。本学では、以前から保健福祉分野などに力がありました。

本学の前身・岡山栄養科学園（昭和60年）が、栄養士の養成を目的として設置されました。栄養士は、食べ物を通じて、健康を支えるプロフェッショナルです。栄養士の養成は、本学の保健福祉学部の原点であり、本学の保健福祉学部は、栄養士の養成を目的として、開学されました。

―学生たちにとって、どのようなメリットがあるのでしょうか。

本学は、定員が、１学年、１００人と、小規模な学部であり、学生一人一人に、教員が、きめ細かく、対応できる、学生にとって、学びやすい環境であると、思います。

―地域・企業との連携深化について、どのようなことを、考えていらっしゃいますか。

地域・企業との連携は、本学の、教育・研究・地域貢献の、三つの、柱の、一つであり